平成30年度　県北選手権大会

平成30年8月24日

会　場　秩父文化体育センター　　Nコート　第3試合

性　別　女子　　決勝リーグ最終戦

対戦カード	鴻巣高校				寄居城北高校
TOTAL	71	14	—	27	86
		23	—	19	
		19	—	23	
		15	—	17	

第1P

両チーム共にハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり鴻巣高校は連戦の疲れからかシュートが思うように決められない。一方、寄居城北高校は＃5のインサイドプレーや＃7、＃8のアウトサイドシュートで得点をあげ、0－10とリードする。その後も高さに勝る寄居城北は内・外のバランスよく得点を重ね6－24と大きくリードを広げる。タイムアウトをとった鴻巣は＃17の連続3P等で踏みとどまり、14－27とし第2P以降に望みをつなぐ。

第2P

リズムを掴みたい鴻巣に対し、寄居城北は積極的なディフェンスからの＃4の速攻等で16－35と再びリードを広げ始める。その後、成功率の下がった寄居城北のシュートを鴻巣は確実にマイボールとする。リバウンドで流れを引き寄せた鴻巣は＃4、＃7の3P等で連続11得点をあげ一気に8点差まで追い上げる。リズムを崩した寄居城北だが、＃7が3Pを決め何とか踏みとどまる。その後は一進一退の攻防が続き、37－46で前半を終える。

第3P

寄居城北がスティールからの速攻を決め後半戦が動き始める。鴻巣はピックからのオフェンスで＃4、＃18等が得点、寄居城北は勢いのあるオフェンスリバウンドからのシュートを＃4、＃5等が決め互いに譲らない。寄居城北＃6の3Pで三度19点差とするが、鴻巣も粘りをみせ56－69でこのピリオドを終了。

第4P

意地を見せたい鴻巣はディフェンスのプレッシャーを強め、ターンオーバーを誘い得点するが、寄居城北も＃6の3P等で追い上げを許さない。61－80と四度19点差とされ鴻巣がタイムアウト。最後の頑張りを見せる鴻巣を振り切り、71－86で寄居城北高校が勝利、準優勝を決めた。敗れた鴻巣高校も第2P以降は互角の戦いを見せており、今後が更に期待される。

リバウンドの大切さ、3Pシュートの怖さを改めて教えられたこのゲーム、寄居城北の勝因は＃5の安定した攻撃力を軸に、控えメンバーも含め、どこからでも得点できる層の厚さがあげられよう。